

# 【視察調査報告書】

会 派 名	八王子の食と農を守る
参加議員	【議員】 1名 船木 翔平
日 程	令和5年（2023年）8月7日（月）
詳 細	
視察日及び視察先	8月7日（月） 東京都 町田市
視 察 内 容	① 行政によるサポート 農業振興及び農地相続・事業承継について ② 教職員の働き方改革について
概 要	農業分野においては、法律改正が行われて農地法、農業経営基盤強化促進法など、規制緩和と共に経営力や持続可能な農業経営ができるように進められています。それに伴う各行政の対応について、町田市の農業行政の現状の調査を行いました。また、教職員の働き方については、町田市独自で教職員へのアンケート調査などし、現状を把握し、行政として取り組んでおりました。
所 感 等  (意見・課題・ 本市への反映など)	町田市は、八王子市に次ぐ多くの農地が存在し、酪農、野菜、果樹、きのこなど多種多様な農業があります。認定農業者が中心となり「まち☆ベジ」の取り組みや市民との交流ができる体験農園なども増加傾向にあるそうです。町田市農業振興計画においても基本目標(ターゲット)を「農業者」と「市民」とも明確に分けて施策や実行計画が作られている点においては、大変参考になりました。  教職員の働き方については、一方的な改善案を提案するのではなく、町田市の教職員全員へアンケート調査を行い、その結果をもとに進められていた。

## 視察の様子



視察日及び視察先	8月17日(木) 東京都 稲城市
視察内容	教職員の働き方改革について
概要	教職員の働き方改革は、国や都の方針によって進められており、ほぼ国や都の方針通りに動いています。過去3年間の教職員の労働時間は、改善され減少傾向にあります。
所感等  (意見・課題・本市への反映など)	教育現場の問題は、どこも同じような状況のようです。ただ、解決方法、教職員からの意見の集約方法や校長のマネジメントでも大きな差が出てきます。稲城市に於いては、ここ3年間教職員の勤務時間は、改善されつつあります。しかし、持ち帰り仕事が増えている可能性があり、これから現状を把握するとの事。 この案件は、国や東京都の方針が大きく影響され、課題は明確になっているが、市役所での実施プロセスをどの様にやっていくが1番の課題の様に思います。

視察の様子



視察日及び視察先	8月17日(木) 神奈川県 相模原市
視察内容	行政によるサポート 農業振興及び農地相続・事業承継について
概要	相模原市の農業分野においては、認定農業者への補助の充実、内閣府の特典制度を活用した相模原ワイン製造、有機農業実施計画(オーガニックビレッジ)の策定など、活発な政策が見られました。
所感等 (意見・課題・本市への反映など)	<p>他の市も認定農業者に対しては、独自支援をしていますが、相模原市は、年間2,000~3,000万円の市独自予算を組み、認定農業者に対して、トラクターやハウスやその他準じた設備に対して補助を行なっております。さらに毎年申請可能です。</p> <p>そして現在、「相模原ワイン」のプロジェクトが進行しております。こちらは、内閣府に特区申請をして、ワイン製造には、通常最低60kl製造が義務付けられているが、それを20~30klに規制緩和してワイン製造の醸造所を可能にしました。</p> <p>また、八王子市の近隣の市では唯一、相模原市は、国の制度の「オーガニックビレッジ」(有機農業実施計画を策定)しております。</p> <p>相模原市内の有機農業者を守り、有機農業者への支援も充実させる為に進められました。ここで気になったのは、既存の農家(慣行農法)の方からの反発です。想像通り一部の農家からは、「商売にならない様な農業を支援するのか」など反対意見もあったようです。</p> <p>これは、相模原市の多様な農業を守る為、有機農業も慣行農法も皆認め合い、相模原市としては、共に共存し合う農業を目指すとしています。ちなみに現在、有機JASを取った農家はおりません。有機JASに準じた農法の農家は、20~30軒ほどいるそうです。</p> <p>このような行政サポートが出来るのは、常日頃からJAや農業者とコミュニケーションをとっていないと難しいかと思えます。</p> <p>相模原市の行動力と創造力は、見習う点が多くありました。</p>

視察の様子



視察日及び視察先	8月18日（金） 東京都 多摩市
視察内容	行政によるサポート 農業振興及び農地相続・事業承継について
概要	多摩市の農業分野においては、ニュータウンエリアが多い多摩市では、その農家の規模や経営内容に応じて農業政策や補助制度がありました。また、生産緑地のような優良農地は、減少幅は少なく、都市部においても農地が保全されておりました。
所感等  (意見・課題・本市への反映など)	<p>多摩市の特徴としては、大半がニュータウンで畑だけでなく公園など緑地も多く「ガーデンシティ」ともいわれる町です。</p> <p>農家数も農地も少ない多摩市ですが、農家に対しての補助も充実しています。</p> <p>他の市では、認定農業者に限られた補助が多いですが、認定農業者以外でも申請が可能な補助がいくつかあります。（多摩市の場合、認定農業者が14軒しかおりません。）市の規模に応じた制度は、とても良いと思いました。</p> <p>多摩市は、公園等が多いためか？農地でなく緑地としての役割を求められる場合があります。確かに最近では、農地に求められる機能として多面的機能（防災、福祉、教育、環境保全など）があります。</p> <p>あと、幸い生産緑地の優良農地は、減少幅は少なく、今も維持されつつあります。</p> <p>今、多摩市では、農業公園プロジェクトも進んでますので、市民と農業（農地）とのあり方については、今後も注意深く参考にさせて頂きたいと思えます。</p>

視察の様子

